00 男 なバか練 勝者を輩出 一は「優 をそろろ 四程度だい、バーは 活 4

(校」。今年度*かかるた大会がかるた大会がかるた大会がかるた大会がかるた大会がかる。

カ 18 かるたクラブロ、大宮小学!

やら行試たを指場をではルメが らの解 員 運審 練学がよりませる。側の 挨粿子~ り側の いー * 拶習ばかまの役練るし ないせるようない。 高 しレこのかせる

丰

高岡小学校に昨年度まで小戸小れた山口孝治先生が赴任。高岡小学校で小戸かるたの製作に携わらはこれまでひむかかるた大会へのはこれまでひむかかるた大会への出場経験はないが、今年度からは出場経験はないが、今年度からは当年生と子どもたちの熱い気持ちが高岡小初出場というかたちでちが高岡小初出場というかたちでもが高岡小河が出場という印象でした。宮崎は凄い!という印象でした。宮崎は凄い!という印象でした。宮崎は凄い!という印象でした。宮崎は凄い!という印象でした。宮崎

てはかえは座ざた審な散際

大会の読み

かれが読む おおれ

生と一緒であるという。

思さ即なる

最中は、子

ナども

かたちは

熱材

火が花れ

小の振り

だの

0

読み手、

え試も段のの ことなる にとても にとても にとないと るだ なるために ないでは、 ないでは、

と と と に も 使 える」と語る。保護者 は、 ひむかかるたを積極的に は、 ひむかかるたを積極的に い りという印象でした。 宮崎 い に も 使える」と語る。 保護者 い に も に も に も に こ に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に に に に に の の に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。

ガワイと

んの山

界思先緒

B 美紀 だと B 美紀

当する中・ 山口先も



、 でくるのか らいざ

離

後

 \mathcal{O}

2

強く

高岡小

松崎環、

岩

を3か時の語年たよしをでのはと文る間でる2°い、し近6室れ字たや不。月4勉密に年内 来れ いクラブ。かのかるた活み 楽しる「ブラ 札のにみるを来い と岡場にし断かか

も始まったかるたえ



大牟田郷土カルタとは

日本最古のカルタと大牟田

遠浅の有明海に面した福岡県大牟田市では、「大 牟田郷土カルタ」が発行されています。日本中で 親しまれているカルタと大牟田には、どのような 関係があるのでしょうか。

滴翠美術館(兵庫県芦屋市)に1枚だけ現存す る「天正カルタ」は、日本最古の国産カルタです。 その裏には「三池住貞次」と記されていることから、 三池地方(大牟田市にある一地域)がカルタの製 作に大きなかかわりを持っていたことが考えられ ます。

その後カルタの生産は一大消費地の京都に移り ますが、「よきものは三池」と呼ばれるほど評判が 良かったことが当時の文献に残されています。

大牟田市には日本で唯一のかるた専門館「大牟 田市立三池カルタ・歴史資料館」があります。 (平成3) 年に開館して以来、日本古来のカ ルタだけではなく、それを生み出した周辺のタロッ トやトランプなども含め、国内外を問わず多種多 様な品々を収集。貝型源氏歌カルタといった古典 的名品から子どもたちに人気のキャラクター・カ ルタまで、その数は1万点を超えており、企画展 ごとに色々なカルタを紹介しています。

また、郷土カルタやカード・ゲームなど、だれ でも参加して楽しめる「市民カルタ・フェア」 3人1組の源平戦で競技カルタを行う「小倉百人 一首九州新人カルタ競技大会」も開催されていま す。(大牟田市立三池カルタ・歴史資料館ホームページ参照) 宮崎で最も歴史の古い宮崎小学校でも、ひむかかるたとはひむかかるたという経歴の持ちも、ひむかかるたに取り組みが始まった。 音の藤森志穂子先生は、かるたぞ祥の地といわれているを生はひむかかるたに、郷土かるたに親しみやすい。身がなったという経歴の持ちも、ないこともたくさん取り上がられている」と話が、知らなはやんちゃな子供たちも、かるたとなるときちんと座がでは毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日宮崎小では毎年1月に「日

ただれている。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 がい。 もれは、 かればい。 もれば、 がい。 もれば、 もれ 語ん る。り し、 たかいたかいま も、普上ら身素い 予をかブ 定持な外藤

郷土かるたの魅力を発信

知る藤森教諭

本伝統文化に親しむ会」とれる。学年でに親しむ会」とれる。学年でに最低の行事では、毎年4年生がひむかかるたに取り組む。そのため、日本を知った子供を知るため、子どもたち以外にもひむかかるため、子どもたちが、新たな作戦を考えるのが楽しさを知った子供たちが、新たながの活躍が、大いに期待される。参観では、ボーナス点などの具体的なルールを知った子供たちが、新たなどの具体的なルールを考えるのが楽しさを知る。 たという。たという。 なれ供 配らた今 た、慮れち後 をるがは 行機ひク う会むラ



で取めも りむた験 れるれたし かがらと がど宮も 楽の崎語供

さ藤

山材内・

稚工中千